

薬の保管方法について

1：はじめに





みなさんは薬をどのように保管していますか。薬は温度、湿度、光、酸素などの影響により薬の安定性が損なわれ、含まれている成分が低下することがあります。今回は特に薬に影響を与える因子とされる「温度」、「湿度」、「光」に注意すべき薬について、一部紹介します。

2：医薬品に影響を与える因子

1) 温度：室温で保存できる薬が多いですが、中には冷所で保存が必要な薬もあります。

温度は冷所：1～15℃、常温：15～25℃、室温：1～30℃と日本薬局方^{※1}で定められています。

※1 医薬品の性状及び品質の適正をはかるため、厚生労働省が定めている基準。

| 商品名（一般名） | 効能又は効果 | 画像 | 特徴 |
|--|-----------------|---|--|
| リアルダ [®] 錠 1200mg （メサラジン） | 潰瘍性大腸炎 |  | 冷所保存。 溶出性 ^{※2} が上昇することで大腸に届きにくくなる。 ※2の主成分の溶けやすさ |
| インスリングルルギン BS 注ミリオペン [®] 「リリー」 （インスリングルルギン） | 糖尿病 |  | 2～8℃で保存。 開封後のものは室温保存。 |
| テゼスパイア [®] 皮下注 210mg ペン （テゼペルマブ） | 気管支喘息 |  | 2～8℃で保存。 |
| アクトシン [®] 軟膏 （ブクラデシン） | 褥瘡（床ずれ） 皮膚潰瘍 |  | 10℃以下で保存。 主成分の低下、水分量の増加がみられる。 |

最近では自己注射ができる注射剤が増えてきています。その多くが 2～8℃で保管が必要です。自宅の冷蔵庫で保管する際は、冷気の吹き出し口の近くは凍結することがあるので注意が必要です。凍結すると薬液が変化したり注射器が故障することがあるので、冷蔵庫の扉の棚に入れて保管する事をお勧めしています。

2) 湿度：吸湿により変色や変質することがあるため、薬を使用する直前に包装から取り出して下さい。(他の薬との一包化は原則できません。)

| 商品名（一般名） | 効能又は効果 | 画像 | 特徴 |
|---|------------------------------------|---|--|
| アスパラカリウム錠 300mg (L-アスパラギン酸 カリウム) | カリウムの補給 |  | 吸湿した際は高度が著しく低下し、形状が保てなる。 |
| バルプロ酸ナトリウム 200mg「アメル」 | 各種てんかん 躁状態の改善 片頭痛発作の 発症抑制 |  | 空気中で徐々に潮解 ^{※3} する。 ※3 物質が空気中の水分を吸収して溶けること。 |
| リンゼス [®] 錠 0.25mg (リナクロチド) | 便秘型過敏性 腸症候群 慢性便秘 |  | 1日後には水分の顕著な増加がみられる。 |

3) 光：光による分解を受けるため、薬を使用する直前に包装から取り出して下さい。

| 商品名（一般名） | 適応 | 画像 | 特徴 |
|---|--------------------|---|---------------------------------|
| メコバラミン錠 500μg 「SW」 | 末梢性神経障害 |  | 光により分解され、主成分の含量が低下する。また着色も見られる。 |
| カバサール [®] 錠 0.25mg、 1.0mg (カベルゴリン) | パーキンソン病 乳汁漏出症など |  | 光によって着色する。 |

3：安全に薬を使用させていただくために

- ・それぞれの薬に適した条件で保管する。
- ・食品や殺虫剤等、薬以外のものとは区別する。
- ・子どもの手の届かない場所に保管する。
- ・薬をあらかじめ包装から取り出して保管したり、別の容器に移し替えない。
- ・古くなった薬を使用しない。

4：さいごに

保管条件など分からないことがあれば、お気軽に薬剤師にお問い合わせ下さい。

薬のひろばは本号が最終号となります。これまでご愛読いただき、誠にありがとうございました。今後は病院の広報誌である回生ニュースに薬の情報を掲載していきますのでよろしくお願い致します。

参考資料：各添付文書、各インタビューフォーム

文責：前田菜々子